

## 子ども施策

たからもと ひであき  
宝本 英明

民主党・市民連合



**問** 年々高まる保育需要に対応するためには、保育所の増設など施設面の充実だけではなく、地域が連携しながら取り組む必要があります。こうした中、保育士・看護師資格を持つ方や子育て経験のある方が、乳幼児を家庭で預かる保育ママ制度は、待機児童の解消に有効な手段と考えますが、市長はどう認識していますか。  
**答** 保育ママ制度を導入することにより、少人数を対象とした、きめ細やかで温かみのある保育を行うことができる

# 市議会 動き

11月26日に招集された第4回定例会の中から、12月2日、3日、4日の代表質問の主な内容、最終日に議決された議案などについてお知らせします。

## 市長公館・公宅の廃止

あしはら すすむ  
芦原 進

公明党



**問** 賓客の接遇などに使用する市長公館は既に閉館しており、歴代市長の住居であった市長公宅も、市長が自宅に戻って以来、空き家の状態です。緊急時の対応や危機管理の面から見ても、交通手段や情報通信の発達した現在、市長公宅を維持する必要性は薄れています。市長公宅を廃止し、市長公館と併せて、市民が利用できる施設として活用すべきと考えますが、いかがですか。  
**答** 市長公宅は市長の執務場所として、市長室の分室的な役割を果たしてきました。しかし、多額の維持管理費用を掛けてまで行政が保有する時代ではないと考えており、本年度中に廃止する予定です。建物は早期に解体し、敷地の豊かな樹木を生かして、円山公園の一部として市民の皆さまに利用していただくことを考えています。

ものと認識しています。保育内容が保育者の資質に左右されやすく、密室性が高いと指摘されていますが、国のガイドラインによるさまざまな研修や、保育所の巡回などを実施することにより、このような課題は解決できるものと考えています。

**問** 保育ママ制度を早急に導入すべきと考えますが、いかがですか。

**答** 保育ママの認定方法や、認定のための講習・実習について検討するとともに、保育所との連携の仕組みづくりなどを行いながら、早期に実施したいと考えています。

**問** 国は保育所整備基準の見直しを進めています。本市の基準は国を上回っており、0歳児の保育室面積は国の約3倍、屋外遊戯場の設置は必須という厳しいものです。基準の見直しについて、どのようにお考えですか。

**答** 待機児童対策と保育の質のバランスが重要であり、保育関係者などの意見を十分に聞いて、面積基準の緩和などの見直しを検討したいと考えています。

## 北海道新幹線と花博

いじま ひろゆき  
飯島 弘之

自民党



**問** 前原国土交通大臣は、北海道新幹線の札幌延伸に向けた未着工区間の費用について、新年度予算計上を見送る方針を明らかにしました。新幹線の需要予測や経済効果、早期完成の必要性を訴えていくべきですが、政府案の最終決定までに、市長はどのように取り組むお考えですか。

**答** 北海道新幹線の整備は、北海道と東北地方の交流を活性化させ、両地域に毎年1,400億円を超える経済波及効果をもたらすなど、日本経済の底上げに欠かせない重要な政策です。北海道や関係自治体、経済界と十分に連携し、幅広い視点で北海道新幹線の優位性を整理しながら、政府との対話を粘り強く行っていきたいと考えています。

**問** 国際園芸博覧会（花博）の実施は、観光都市さっぽろの魅力をもたらし、国内外に発信し、地域経済に多くの波及効果をもたらすものと考えます。開催の是非についての市長の判断を伺います。

**答** できるだけ多くの市民の声を聞くため、市民アンケートを実施したところ、賛否は拮抗し、本市の財政状況を懸念する意見も多く見られました。議会での議論なども踏まえて検討してきましたが、短期的な経済効果は期待できるものの、新しい産業の育成や市民の暮らしの充実といった、中長期的な効果は限定的であると判断しました。

経済情勢の先行きが不透明な中で、他都市の大規模イベントを見ても、入場料収入、企業協賛、出展などの面で収支見通しが立たず、花博の誘致を断念するとの最終結論に至りました。